

学校評価＜保護者＞の意見についての回答

島田小学校 校長 青砥

今年度の学校評価に対して、お忙しい中ご回答いただき、貴重なご意見を届けてくださり、感謝しております。良い点についてのご意見やご感想もいただき、次年度に向けての教職員の励みになります。ありがとうございました。いただいていたご意見に対して、以下の通りご回答いたします。なお、学校職員個人を限定した記載については、個別に回答させていただきます。この件についてのご意見やご感想は、直接青砥までご連絡ください。

保護者の方からいただいたご意見 ○良い ▼改善 ・意見

→ 回答

①授業について

- 算数の授業を二手に分けていただいていたと思います。
- 宿題が平日も週末もほどよい量で、しっかり学べるものが出されていて良かったです。例えば数学では専科の先生が毎日プリントを作ってください、そのお陰で授業の復習がきちんとできたので、授業もつまずくことなくついていけました。
- 国語の漢字の宿題では、細かいところまで先生がきちんとチェックしてください、間違いなく多くの漢字を覚えることができました。
- ▼日々の宿題が減ったように思います。日記もほぼないです。自分でたまに書いてみるように言いますが、宿題でないとなかなか書こうとする気がなく難しいです。
- ▼宿題の量を少し増やしてほしい。自主的に学習できると良いが、なかなか難しいため。また、今年度から早めに帰宅するようになり、自由に使える時間が増えたため。
- ▼算数の授業が理解できている生徒が少ないように思う。対策を求める。
- ▼子どもの基礎学力や倫理観など、将来に不安を感じる。先生の不足は分かりますが、2クラス制のきめ細やかな指導を望みます。
- ▼Chrome book を全く持ち帰らなかったのも、お家で Chrome book を買いました。毎日が無理だったら、週末だけでも Chrome book を持ち帰らせてもらえたら。子ども達のパソコンスキルもあがったと思います。

→ 学校での学びや家庭学習に関心を持っていただいていることに対して、嬉しく思います。

昨年度もお伝えしていましたが、令和時代の学校での学びは、昭和や平成時代の教育のやり方と大きく異なってきています。「教師が教える学び」から「児童が主体的に学ぶ」というスタイルへ変わってきています。本校でも、一人1台の端末 Chrome book を活用しながら、主体的・対話的で深い学びになるように授業改善を行っているところです。次年度から正式に始まる県事業「たつじんテス

ト」の活用により、児童のつまずき（語彙の少なさ、他者視点での捉え難さ等）を全教職員で共通認識を授業改善に活かしているところです。また、家庭学習についても、発達段階に応じて異なります。低学年は、学校での行った学習の復習が中心の家庭学習から、高学年では、次の学習に繋がる課題を取り入れる家庭学習へ移行していきます。やらされる宿題から主体的に行う家庭学習になるように工夫しているところです。ご家庭でも家庭学習について、引き続き励まし等をよろしくお願いします。

算数の授業については、系統性があることから3年生以上において、2学期から加配教員による取り出し指導を取り入れながら実施しています。

Chrome book についても、発達段階に応じて異なります。次年度から、安来市全体で3年生以上持ち帰りを進めていくこととしています。ご家庭での充電について、改めてご協力をお願いすることとなります。

大人たちが生きてきた昭和や平成の価値観とは異なる未来の時代を生きる子ども達のために、更なる授業改善を行っていくことを共通認識しています。教員も学び続けています。引き続きご理解とご協力をお願いします。

②学校評価について

▼本アンケートの設問だと、「わからない」としか言えない。アンケート実施に疑問を感じました。学校側が困っていること等を提示して、親側が考えるようなシステムがあっても良いかもしれない。

▼本アンケートですが、学校内で起きていることや状況を親は子どもの言葉やお便りでしか判断できないため、意義に疑問を持ちます。

→ 学校評価は、学校教育法と学校教育法施行規則で実施することが決められています。年度初めに設定した学校経営グランドデザインに基づく学校の教育活動や学校運営の状況について、達成状況を評価し、次年度に向けた改善を図るために行います。結果については、保護者や地域住民に公表すると共に市教育委員会に報告することが義務づけられています。

『「わからない」としか言えない』『子どもの言葉やお便りでしか判断できない』というご意見を聞き、そのご意見そのものが評価であると捉えています。設問が分かりにくいという声が届いています。次年度に向けて検討していきます。

なお、学校側が悩んでいることについては、その都度保護者の方へアンケートを実施させていただいています。2月14日付 classroom で依頼した「スキー教室に関するアンケート」は2月20日が締切です。回答についてご協力ください。

③学校(担任)と保護者と関わりについて

○学校では話すのが苦手で悲しい思いをすることも多いですが、担任の先生が良いところを見てくださいあってありがたく思っています。

・懇談をもう少し後にして、のびゆく子を元に先生から話が聞きたい。「できた」「もう少し」を具体的に教えてもらえると、褒めてあげられるし、改善していくところも一緒に考えやすいかと思います。

→ お子さんのよりよい育ちのために、保護者の方と一緒に考えていきたいという気持ちをもっていただいている事に感謝をします。個人面談について、年間二回、1学期は夏季休業中に、2学期は今年度より少し遅く設定していくこととしています。お出かけください。

④行事について

○行事が短縮されて良かったです。

- ・学習発表会の時、保護者が時間に遅れて発表が見られなかったことに学校が謝罪文を載せたのが良くなかったと思う。学校側が原因なら良いが、保護者が原因なら謝る必要を感じない。何でも保護者に譲歩する姿勢を見せることが児童にいい影響があるとは思えない。
- ・働き方改革は先生達にとって必要な事と考えますが、いろいろな行事に関して、変更があったので、残念だなと思うこともありました。

→ 学習発表会については、学校側の不手際でしたので、安来市教育委員会に相談した上で、対応させていただきました。お便り配布後、該当者の方はいらっしゃいませんでした。ご心配をおかけしました。

行事の変更については、可能な範囲で前年度にお知らせし、ご了解をいただいたつもりでしたが、説明が不十分だったのかもしれません。

⑤その他

- ・行事予定表をアプリだけでなく、紙でも配布してほしい。アプリだけだと不便に感じた。
→ 安来市全体でのペーパーレスの取組の一環で行っています。今回1名の方のご意見でした。多くの方が不便に感じておられれば、検討していきます。
- ・昇降口が開けっ放し、小学校の敷地内に誰でもいつでも入れるような状態になっていることが少し気になりました。
→ ご指摘後、児童登校後は可能な範囲で閉めるようにしています。
- ・挨拶がとにかくできないので、何らかの対応を示してほしい。
→ 学校でも絶えず声をかけて取組をしています。学校だけでなく、PTAや地域の方とも相談して、協力して取り組んでいきたい内容です。
- ・地域との交流やPTAとの関わりがここ数年でかなり希薄になった。どのように小学校に貢献すればよいのか分からないし、その場もない。
→ 貢献していきたいという気持ちをもっていただいていること、ありがとうございます。学校からのお願いについてはPTA役員さんに直接お伝えしています。今年度、児童昇降口の下駄箱ペンキ塗りや奉仕作業、空き瓶回収等行っていただき、感謝しています。